



鳥栖っ子

学校合言葉

～ わ をつくろう ～

令和6年9月19日（木）

鳥栖市立 鳥栖小学校

文責 校長 古賀 泰伸

“手と手をつなぎ 心をつなぎ わ になって” みんなで助け合う みんなの笑顔のために

影響が小さくてホッとしました。

2学期がスタートして、3週間がたちました。スタート直後は、台風10号の影響を受け2日間の臨時休業となりました。台風の進路のためか上陸するまでは「これまでに経験したことのないような」台風と報道されていたため、子どもたちへの影響や、学校施設への影響、地域への影響など心配しておりましたが、なんとか鳥栖小学校区内への影響は小さかったようで、安心したところでした。

何人かの子どもたちに、台風の影響がなかったかたずねると、「何もなかったよ。」「時々（風が）強かったけど、怖くなかった。」と、笑顔で答えてくれました。中には、「このまま、ずっと休みが続けばいいのに・・・。」となぜか子どもも。台風の影響は大きくなかったものの、休み継続への影響は少々出たようでした・・・。

ちなみに、学校施設への影響は雨の吹き込みと、雨のしみこみが少々あったくらいで、大きな被害はありませんでした。

少しずつ、少しずつですが。

ある日の朝のことです。私が運動場の草取りをしていると、一人の子どもが私に話しかけてきました。「おはようございます。何してるんですか。」草取りをしていることを伝え、「すぐに終わらせる方法知ってます。全校のみんなですればすぐにおわります。」とアドバイス。きっと、私の作業を見てもっと効率よくできることを伝えなかったのでしょう。また別の子どもたちが近づいてきて「何してるんですか。」と同じような質問を。同じように草取りをしていることを伝え、「帽子かぶった方がいいのに。」と私の体調を気遣っての一言。その子どもたちとしばらく話をしていると、また別の男の子3人が、私の姿を見てのことでしょう「校長先生、取ってきたよ。」と取ってきた草を私にくれま

した。

どの子たちも、私のことを思っている行動でした。ありがたいことです。このように誰かのことを思っている行動できる子どもたちが少しずつ少しずつではありますが、育ってきているようです。その分、「わ」も大きくなりつつあります。

出前講座や体験学習を行っています！



「うわっ、くさっ。」これは、5年生の環境教育の出前講座で発した児童のつぶやきです。

大気汚染について学習する中で気体検知管を使って車の排気ガスに含まれる成分を数値で確認していました。この出前講座を通して、環境について考え、自分の生活を振り返り、公共交通機関の利用やゴミを可能な限り出さないことなど、今後の生活で自分にできることを考えることができていました。

4年生では車椅子体験を行いました。車椅子に実際に乗り、ちょっとした段差であっても車椅子に乗っている方にとってはとても不便であること、自動販売機の押しボタンの高さが高すぎるなどについて、体験を通して学び、自分



たちにできることを考えていました。

今後も、出前授業等を活用しながら教科書では学べないことを学んだり専門家から学んだりすることで実感を伴った学びにつながればと考えているところです。

【お知らせ】

運動会は、10月19日（土）を予定しています。